



セーフコミュニティ通信 第10号

発行：平成29年9月 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

○セーフコミュニティ認証申請書を提出しました

平成29年8月31日（木）、これまでの活動の成果や見えてきたことなどをまとめ、認証取得の申請をしました。

海外審査員による現地審査は11月9日（木）、10日（金）の2日間です。
プレゼンテーションに向け、更なるご理解、ご協力をお願いします。

○自殺予防街頭キャンペーンで、自殺予防

～自殺予防対策委員会～

郡山市における死因は、病気を除くと「自殺」が一番多く、特に働き盛り世代(40代～50代)に多い現状となっています。また、これからの未来を背負う若者の自殺もなくなる状況です。

そのため、自殺予防対策委員会では、9月の自殺対策強化月間に合わせ、9月11日の朝の通勤・通学時間帯に自殺予防の街頭キャンペーンを実施しました。

学生や働き世代の方たちに自分の心の健康状況、そして、周囲の人の悩みに気づいてもらうための啓発品を約2,500部配布しました。

また、郡山地区ハイヤータクシー協同組合様に御協力頂き、9月30日まで後部座席に啓発チラシを設置して頂いております。

市は9月10日に社会全体で見守る体制を目指し、「郡山市自殺対策基本条例」を施行しました。私たちも一緒に悩める人を支えていける活動を今後も続けていきます。



自殺予防対策委員会委員(7名)、自殺予防関連団体(1名)、福島県理容生活衛生同業組合郡山支部(15名)、市議会議員(18名)、市職員(5名)が協働でキャンペーンを実施しました！



○自殺予防のその他の取組

～自殺予防対策委員会～



演題「自殺予防教育の実践」

立命館大学総合心身理学部の川野 健治 教授を講師に、8月1日、小中学校の先生等 73人を対象に、自殺予防の教育プログラム等について講演会を開催しました。



誰も自殺に追い込まれることのない社会へ

広報こおりやま9月号に、自殺予防の特集が掲載されました。
約11万3,000部が、各世帯、商業施設、金融機関、学校等に配布されました。



郡山市の自殺の実情等を掲示

9月10日から18日まで、ビッグアイ6階にパネル展示を実施しました。
自殺の現状を知ってもらいたいという思いから、初めて自殺に関するデータなどを掲示しました。

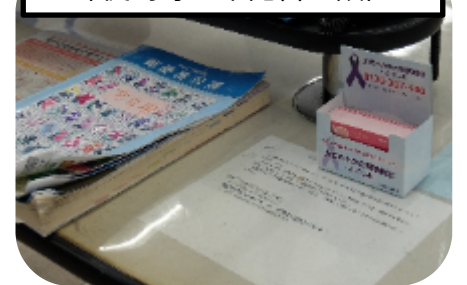
○企業と協働でDV相談窓口の周知啓発

～防犯対策委員会～

一部金融機関にご協力いただき、筆記台にDV等相談窓口のカード型啓発品を設置しました。
(配布数 2,250枚 設置場所 30か所)

今後は、市内全金融機関や商業施設等に設置できるよう取り組んでいきます。

郵便局等の筆記台に設置



○郡山市総合防災訓練で防災意識の啓発

～防災・環境安全対策委員会～



郡山市総合防災訓練

8月26日(土)、全市一斉の総合防災訓練が行われ、市民約5,000名が参加しました。

中央会場の小山田小学校では、各対策委員会の取組を紹介したチラシやポスター等を使い、参加者へセーフコミュニティの啓発を行いました。

また、防災・環境安全対策委員会は、「自助・共助に関するアンケート調査」を実施しました。

これらの意見も参考に、今後も市民の防災意識高揚に向けた活動に取り組んでいきます。



平成29年6月、市内の高校へ自転車事故のスケアード・ストレイトのDVDを持参し、高校生のDVD視聴と、アンケート調査への協力を依頼しました。

スケアード・ストレイトとは「恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法」です。

自転車の利用機会が多い高校生に、スタントマンによるリアルな交通事故の再現を見てもらうことによって、交通ルールを守ることの大切さを学んでもらうため、今回の活動に取り組みました。

調査結果からは、「DVD視聴によって、交通安全の意識が高まった」という意識の変化が見られました。

皆さん、御協力ありがとうございました。

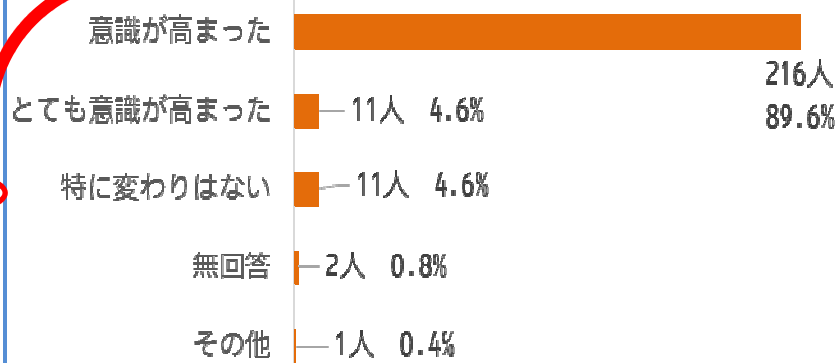
調査結果の一部です。

【問】交通安全の意識について

選択肢	基数 (人)	構成比 (%)
常に意識していた	67	7.1
意識していた	619	65.3
意識していなかった	241	25.4
無回答	14	1.5
その他	7	0.7
計	948	100.0

DVD視聴後の意識の変化

(「意識していなかった」241人対象)



自転車をよく利用する人からこんな声があ^^
 「最近、さくら通りを走っていて思うんだけど、
 自転車レーンを走る高校生が増えたみたい。
 交通マナーも、前よりよくなっている感じが
 するね。」



○現地審査に向けた各委員会の活動

◇ 8月22日(火)、23日(水)、6つの分野別対策委員会を開催し、一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構代表理事 白石氏、専務理事 今井氏から、現地審査に向けたアドバイス等をいただきました。

◇ 8月29日(火)には、外傷サーベイランス委員会を開催し、認証申請書について協議しました。



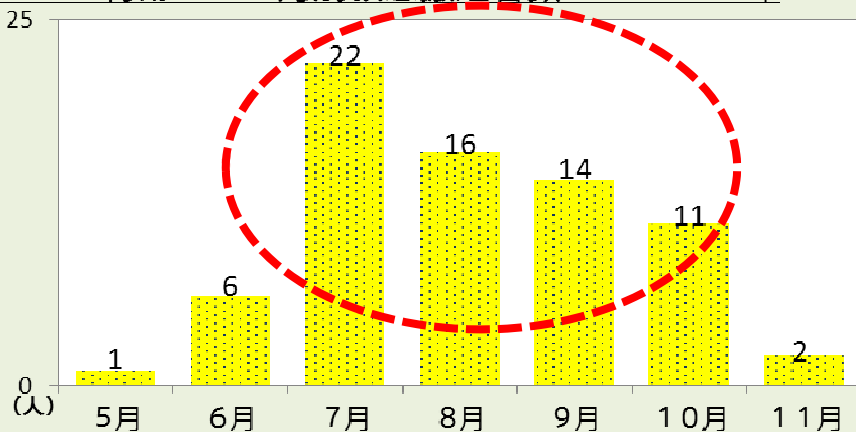
郡山市内のハチ刺傷事故の状況

ハチ刺傷による救急搬送は、平成26年～平成28年の3年間で72件、発生場所は、畑等を含む自宅敷地内が約60%でした。

重症例は少なかったのですが、過去にも刺されたことがあると、アナフィラキシーショックに陥ることがあり、命にかかります。

(郡山市内)

ハチ刺傷による月別救急搬送者数 H26～H28年



(全国) ハチ刺されによる死亡者数等

年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年
死亡者数	16人	22人	24人	14人	23人

人口動態統計 (厚生労働省)



郡山地方広域消防組合は、
けがなどを予防する

『予防救急』に取り組んでいます。

3年間の救急搬送件数では7月がもっとも多くなっていますが、巣が最も発達する時期、10月までは危険な時期です。

○刺されやすい部分を少なくするため、長袖、長ズボン、帽子を着用するようにしましょう。

○黒、赤、青などの濃い色に攻撃性を示すため、白系や淡い色の服装を選びましょう。

○大声や大きな物音、振動はハチを刺激するので注意しましょう。

○ハチは、花やフルーツといったにおいの強いものに引き寄せられます。香水や匂いの強い整髪料は避けましょう。

○作業前、作業中に大型のハチや複数のハチを見かけたら、巣が近くにないか確認しましょう。

いたずらはキケン!



スズメバチの巣を見つけても、棒でつついたり何かを投げたり、絶対にしないでください。巣を守ろうとするハチが攻撃してきます。たまたま近くを通った人まで、ハチに襲われることになるかもしれません。

巣を見つけても、近づかないでください。

《お知らせ》「セーフコミュニティ」の出前講座

町内会や地域の会合、ご近所の方の集まり…などの場に職員が出向いて説明させていただく「市政きらめき出前講座」を行っています。

お気軽に市民安全課へご連絡ください。(電話924-2151)



発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

【お問合せ・連絡先】

郡山市市民部市民安全課セーフコミュニティ推進室
(郡山市役所西庁舎3階)

電話 024-924-2151 ファクシ 024-921-1340

メールアドレス siminazen@city.koriyama.fukushima.jp

郡山市 セーフコミュニティ

検索



市民意識調査の結果、郡山市のけがや事故の状況等のデータなどがダウンロードできます

